

生命環境学部・大学院医工農学総合教育部 生命環境学専攻この一年（令和2年度）

令和2年4月

■4月1日（水）新学部長就任

山梨大学生命環境学部長(学域長)の職を務めてきました黒澤教授が3月31日をもって満期退任し、4月1日より奥田徹教授が学部長に就任いたしました。生命環境学部ホームページに、黒澤教授からの退任挨拶、奥田教授からの就任の挨拶などが掲載されていますのでご覧ください。

■4月6日（月）新入生ガイダンス

令和2年4月7日（火）に入学式が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。また、同日に予定しておりました後援会総会も中止になりました。

そのような状況の中、学科ごとに新入生ガイダンスが実施されました。新型コロナウイルスへの対策としていくつかの教室に分かれ、オンライン中継なども利用し、履修申告や専門科目などの説明をしました。



■4月10日（金）令和元年度 生命環境学部学生表彰

生命環境学部では、優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、本学部学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

令和元年度は、新型コロナウイルスへの対策として表彰式は中止になりましたが、生命工学科8名、地域食物科学科8名、環境科学科9名、地域社会システム学科8名、計33名が表彰されました。

令和2年5月



■5月4日（月）山梨日日新聞に小松志朗准教授の論考記事が掲載

5月4日付け、山梨日日新聞朝刊総合3面「時標」に、地域社会システム学科小松志朗准教授の論考記事が掲載されました。「コロナ対応、国際協調が効率的」との題で、入国制限に頼ることのない科学的な感染症対策として、WHOを軸とした国際協調の重要性について述べています。

■5月14日（木）新型コロナウイルスの影響で困窮する学生に臨時奨学金を給付

山梨大学工学部・生命環境学部の同窓会である一般社団法人山梨工業会より、新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮している学生31名に、返還不要の奨学金一人10万円が給付されました。

■5月22日（金）日本物理学会 学生優秀発表賞を秋葉祐里さんが受賞

生命環境学部の卒業生で、山梨大学大学院博士課程工学専攻環境社会システムコース2年の秋葉祐里さんが、日本物理学会第75回年次大会学生優秀発表賞領域11を受賞しました。同賞は、日本物理学会の活性化に貢献しうる優秀な若手研究者に対して贈られるものです。受賞テーマは「冷却速度は火成岩の亀裂形状に関係するのか？」です。

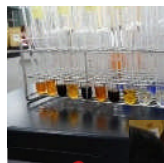
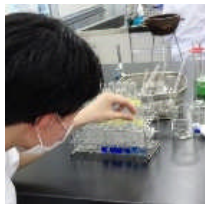
令和2年6月

■6月10日（水）生命工学科3年生の実験の様子

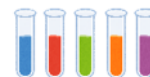
新型コロナウイルスの感染予防、感染拡大防止に注意を払いながら、生命工学科3年生の学生実習を実施しています。例年とは異なり、3つのグループに分かれ交代で実験をしています。実施日数も限られているため、スタッフが試薬調整をサポートするなど、効率よく実験が進むよう工夫しながらの実習です。



様々な実験器具を使いながらの作業。
試薬の反応を見ます。



実験ノートに実験の詳細を記入します。
実験を進めるたびに記入します。



大学院生がティーチングアシスタントとして実験のサポートをしてくれています。

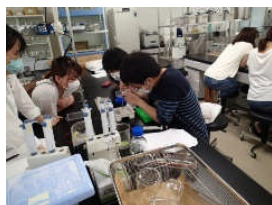
■6月16日（火）ブドウ栽培実習の様子

新型コロナウイルスの感染予防のために、少人数に分散してのブドウ栽培実習が、ワイン特別コースの3年生により行われています。この日は生育が旺盛なカルベネ・ソーヴィニヨンの新梢管理を行いました。四方に伸びた枝葉でジャングルのような状態でしたが、作業が終わるころには果実周辺にまで日光が当たるようになりました。



令和2年7月

■7月1日（水）地域食物科学科3年生の実験の様子



地域食物科学科では、6月より3年生の学生実験を行っています。新型コロナウイルスの感染予防、感染拡大防止のため、少人数でのグループを作り実施しています。左の写真は、果実遺伝子実験をしている所です。実験を通して、マイクロピペットの操作方法を習得します。

■7月4日（土）・5日（日）観光政策科学基礎実習を実施

地域社会システム学科、観光政策科学基礎実習の一環として富士五湖地域の視察研修を実施しました。

学生が一泊二日のコースを設計しそれに沿って実際に視察することで、観光を企画する側、運営する側に求められる視点を実践的に学習しました。



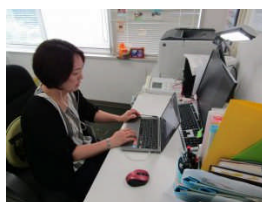
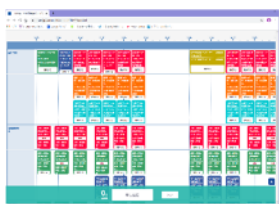
令和2年8月

■8月9日（日）WEBオープンキャンパスを開催

新型コロナウイルスの感染予防、感染拡大防止のため、本年度はオープンキャンパスをweb上で開催しました。当日は模擬授業、個別相談会、在学生による大学生活紹介など、多数のメニューを用意し対応しました。



ホームページからの入口
多数のメニューを用意→



個別相談の様子

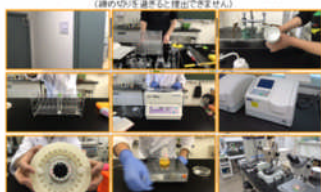


学生による大学生活紹介

■8月11日（火）大山拓次准教授の授業事例が文部科学省 Web サイトに掲載

文部科学省のWebサイトの「大学における新型コロナウイルス感染症対策の好事例について」に、生命工学科、大山拓次准教授の授業事例が紹介されました。

2020年度生物工学実験Ⅰ：予想の5月
計9回のオンエア、毎回の課題はmoodleで解答
(講義の15分前まで提出して下さい)



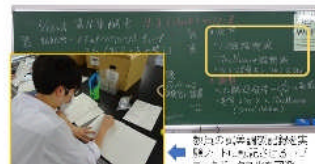
実験室での実験を想定した
オンライン授業

2020年度生物工学実験Ⅰ実施予定：実践の6月
3グループに分かれて、日替わりで実験を実施(定員回産
(実験中の移動はあるが)基本の座席は対面配置を避ける
感染予防・拡大防止対策：マスク、消毒用アルコール、ハンドソープ



学生を少人数のグループに
分けて実験を行う対面授業

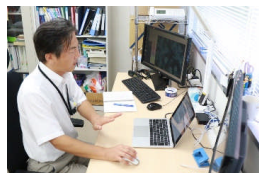
2020年度生物工学実験Ⅰ実施予定：実践の6月
一部の授業内容が録音・録画されているため、一部の実験事例は「録音・録画」で実施することで、1日の実施時間に対する授業の質を向上させる



省略された実験過程は
授業内で説明する

令和2年9月

■9月11日（金）大山拓次准教授が国立情報学研究所主催サイバーシンポジウムで講演



国立情報学研究所主催「4月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウムー遠隔・対面ハイブリッド講義に向けての取り組みー」がオンラインで開催され、生命工学科、大山拓次准教授が講演を行いました。

大山拓次准教授は「新型コロナ禍での実習事例：遠隔授業と対面実習のハイブリッドの試み」と題し、学生を少人数グループに分け、習得内容等に応じて遠隔授業と対面授業に振り分けた効率的かつ感染リスクに配慮した授業方法について講演しました。

■9月20日（日）地域社会システム学科の学生らがフードロスの課題解決に向けたイベントを開催

地域社会システム学科観光政策科学特別コース、田中敦ゼミ所属の学生グループ「ReVegeAte」が、フードロスの課題解決に向けたプロジェクトに挑戦しました。

活動資金の捻出にはクラウドファンディングを利用した他、農場や飲食店の協力を得て、野菜の収穫体験、収穫した野菜を使った料理作りのイベントを開催しました。



■9月28日（月）山梨大学学業成績優秀者表彰式

大村記念ホールにて、令和2年度山梨大学学業成績優秀者表彰式が行われました。生命環境学部からは、生命工学科 塩島悠汰さん、地域食物科学科 宗像優佳さん、環境科学科 桜井健斗さん、地域社会システム学科 山本純矢さんの4名が表彰されました。



■9月30日（水）生物資源実習を実施

2020年9月に、生命工学科1年生を対象とした生物資源実習が行われました。牧場や農場圃場での実習で、畜産や農作物の生産の実態、問題点を学び、その資源としての在り方や品質管理を総合的に学習しました。



令和2年10月

■10月15日（木）対面での研究室活動

10月に入り後期の授業が開始されました。生命環境学域では、新型コロナウイルスの感染拡大防止に十分配慮し、対面での研究活動を実施しています。

新しく設置されたアクティブラーニング教室を使い授業をしている様子。



■10月29日（木）・30日（金）卒業研究 中間発表会を開催

環境科学科では、10月29日・30日に4年生が卒業研究の中間発表会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止に気を付けながらも、卒業に向けて研究に取り組んでいます。



令和2年11月

■11月7日（土）山梨大学日本ワインオンラインセミナーを開催

「山梨大学日本ワインオンラインセミナー」が、大村智記念学術館にて開催、配信され、約80名が聴講しました。これはメルシャン株式会社主催「シャトー・メルシャン勝沼ワイナリーフェスティバル2020」の企画に一環として実施されたもので、「日本を世界の銘醸地にするために：これまで産学で取り組んできた技術的成果と今後の展望と課題について」というテーマのもと、後援会が行われました。



■11月16日（月）山梨科学アカデミー奨励賞受賞

地域社会システム学科の菊地淑人准教授が、山梨科学アカデミー奨励賞を受賞しました。この賞は、学術研究、技術開発及び教育等の分野において優れた成果を収め将来を嘱望される、山梨に関りを有する個人またはグループに対して贈られる賞です。



■ 11月16日（月）生命環境学専攻 市川祐実さんが優秀発表賞を受賞

新学術領域研究「植物構造オプト」第2回若手の会において、大学院修士課程生命環境学専攻 地域環境マネジメントコース1年の市川祐実さん（指導教員：島弘幸教授）が優秀発表賞を受賞しました。受賞テーマは「樹枝の応力均一分布に関する一考察」で、自然に繁茂する樹木は、枝先の葉に十分な太陽光が当たるように枝を伸ばしつつ、過度な力学的負荷がかからないよう自律的に力学的最適構造を形成していると推測されており、この最適構造を解明すべく、枝の幾何形状や荷重条件と力学応答の相関関係を解析し、研究成果として報告しました。



■ 11月20日（金）大山拓次准教授らの研究グループの論文が国際学術誌に掲載

生命環境学部生命工学科 大山拓次准教授と昭和薬科大学との共同研究チームが5年にわたって実施してきた脂質代謝に関わるタンパク質 PPARα に関する研究が、国際学術誌 Science に掲載されました。

■ 11月28日（土）農業実習

地域社会システム学科1年生が、「生物資源実習」の一環として、生命環境学部附属農場にて農業実習を行いました。農場スタッフの指導のもと、薩摩芋掘りや白菜の浅漬け作り等にチャレンジしました



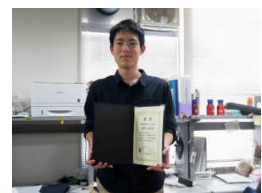
■ 11月20日（金）甲州ブドウのゲノム解析に関する研究が国際学術誌に掲載

地域食物科学科（ワイン科学研究センター）の榎真一助教と、東京農業大学生物資源ゲノム解析センターの共同研究チームによる、日本固有の醸造用白ブドウ品種「甲州」のゲノム解析に関する研究が国際学術誌「Frontiers in Plant Science」に掲載されました。

令和2年12月

■ 12月6日（日）生命環境学専攻 猪狩太基さんが大会発表賞を受賞

令和2年12月5日（土）～6日（日）に開催された、日本ブドウ・ワイン学会 2020 名古屋大会において、大学院修士課程生命環境学専攻 食物・ワイン科学コース2年の猪狩太基さん（指導教員：奥田徹教授）が大会発表賞を受賞しました。



受賞テーマは「ブドウ中の BSA 非沈殿性タンニンの分布および醸造中の挙動」です。

本研究は赤ワインのポリフェノールの中で、これまで報告のない BSA 非沈殿性タンニンの原料ブドウ中の分布と抽出挙動を調べたもので、赤ワインのポリフェノールの 1/4 を占める重要なポリフェノールの性質を明らかにしたものです。

■ 12月8日（火）田中敦教授の講演がライブ配信

政府広報室・国土交通省主催の政府広報事業「未来に向けて、知る・変わる・守る チームNEXT ステップ」のシンポジウムが開催され、生命環境学部地域社会システム学科 田中敦教授の講演が全国にライブ配信されました。「日本型ワーケーションの考え方と可能性」と題した講演は、政府広報室のHPで2年間アーカイブされます。



ライブ配信の様子

令和3年1月

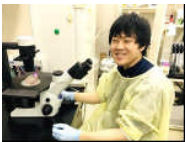
■ 1月26日（火）卒業生が勤める企業のオンライン見学を実施

生物資源実習の一環として、株式会社はくばくの会社説明や現場見学を、オンラインで実施しました。これは株式会社はくばくに勤務する卒業生の厚意により実現したもので、当日の説明も、生命工学科の卒業生である西村真央さんが担当してくださいました。現在西村さんは腸内細菌の研究に携わっているそうです。



令和3年2月

■ 2月13日（土）博士課程の大園さんらが、Nature Communications 誌に論文を発表



生命工学科の卒業生で山梨大学大学院博士課程統合応用生命科学専攻生命工学コース2年の大園誠也さんらのグループが、新型コロナウイルスの変異による感染性の上昇に関する重要な発見をし、Nature Communications 誌に論文を発表しました。

■ 2月18日（木）令和2年度学生表彰（学術研究活動）

本学では優秀な成績を収めた学生及びその行為が社会的に高く評価される等、学生の模範となりうると認められた学生に対し、学生表彰を行っています。

令和2年度は、生命環境学専攻から2名の学生が表彰対象となり、2月18日（木）に表彰式を行いました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。



食物・ワイン科学コース 猪狩 太基さん
地域環境マネジメントコース 市川 祐実さん

令和3年3月

■ 3月6日（土）令和3年度 一般入試（前期日程）合格者発表

3月6日（土）、令和3年度一般入試（前期日程）の合格者が発表されました。今年は新型コロナウイルスの感染防止対策をしながらの入試ということで、受験生の皆様も例年以上に緊張を強いられる受験だったと思われませんが、6日の合格者発表の掲示板の前では、例年通り、自分の受験番号を見つけ喜びの声を上げる姿や、掲示をバックに写真を撮る姿を見ることができました。



■ 3月23日（土）令和2年度山梨大学卒業式・修了式を挙

令和2年度山梨大学卒業式・修了式が、各学部の代表者が出席し、大村智記念学術館にて挙

行され、式典の様子はライブで配信されました。その後各学科にて、卒業証書および学位記が卒業生、修了生に授与されました。

